

3-④-③ こんな町 めざそう！ どんなこと できそう？

■対象：地域住民 ■人数：20人 ■時間：60分程度 ■手法：ラベルワーク

学習のねらい (2回目に話し合った) “めざす地域像” に近づくために、自分たちにできることを出し合うことで、自らの動きにつなげて考えることができる。

時間	学習の流れ	留意点	準備物
	<p>【はじめに】</p> <p>今回は、前回みなさんが考えた“めざす地域像”に近づくために自分たちで何ができるかを考えていきます。その前に少し心と体をほぐしましょう。</p>		
20分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>① たいやきカードを使って、短所カードで自己紹介をする</p> <p>② 裏面の長所カードを使って他己紹介をしあう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回とはちがう4人のグループをつくっておく。(アイスブレイクでグループ分けをしてもよい)その後、「たいやき自己紹介」を行う。 ・「見方や、考え方を変える」ということを後のワークにつなげる。 	たいやきカード
30分	<p>《はじめにルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【中心のワーク】</p> <p>① “めざす地域像”に近づくために自分たちで何ができそうなのかを付箋1枚に1つずつ、なるべくたくさん書く [10分]</p> <p>② 書いた付箋を紹介し、模造紙にはりながら話し合う [10分]</p> <p>③ グループの代表が、発表する [10分]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの確認(模造紙にまとめたもの)と、今回のねらい、ワークの流れを確認し、見通しをもつ。 ・考えるときの主語は、「行政」「誰か」ではなく、「自分たち」とする。 ・「すぐにできそうなこと」「時間のかかること」、どちらでもよい。 ・話し合いの中で多様な意見が出ることを推奨し、否定的な意見が出た場合は、「ルールとマナー」を確認する。 ・出た意見をホワイトボード等に整理して記録する。 	<p>模造紙 (前回までの意見が集約されたもの)</p> <p>付箋 サインペン</p> <p>模造紙 色マーカー</p> <p>ホワイトボード ホワイトボード マーカー</p>
10分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>① 「今日の感想」をワークシートに書く</p> <p>② グループで発表し合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に広げたいことは、積極的に取り上げる。 	ワークシート
	<p>【おわりに】</p> <p>いかがでしたか。今回は、“めざす地域像”に近づくために自分たちで何ができそうかを考えました。これからこれを、実際に取り組んでいくことが大切になってきますね。次は、何からどう取り組んでいくのか考えていきましょう。</p>		